意外に多い駐車場の事故

車両事故の約3割は駐車場内で発生

〇駐車場内では、「進行方向が不規則」
〇駐車スペースを探すことに「気を取られ」⇒「注意散漫」

2015/07/17

自動車事故というと公道を走行しているときの車同士や、車と歩行者の事故などが頭に浮かびます。しかし、**駐車場の中**で事故が発生するケースが**意外に多い**ようです。これから本格的な夏を迎え、レジャーなどで駐車場を利用する機会が増えるはず。**"十分な注意"**が必要だと言えるでしょう。

駐車場事故の発生要因として真っ先に挙げられるのは、公道との運転方法の違い。

駐車場内は、走行する車の**"進行方向が不規則"**になるため、車同士の接触事故リスクが増大するのです。また、**"駐車スペースを探す"**ことに**"気を取られて注意が散漫"**になってしまったり、安全確認が不十分になってしまうことなども事故発生の要因として考えられます。

駐車場で、"バック"

してきた車と、レントゲン車に"はさまれ"

集団健康診断の女性3人死傷

2015年7月16日(木)20時19分

16日正午ごろ、集団健診が行われていた新潟県の公民館駐車場で、女性3人が、**バックしてきた**軽乗用車と止まっていたレントゲン車の間に**挟まれた**。いずれも病院に運ばれたが、女性(84)が胸部圧迫などで**死亡**、女性(77)は意識不明、女性(68)は首に痛みを訴えているという。警察は、車を運転していた無職の男性容疑者(83)を、過失運転致傷容疑で現行犯逮捕した。容疑を認め、**「ブレーキとアクセルを踏み間違えた」**と話しているという。

平成27年　夏の全国交通安全運動　本日最終日⇒　「めざせ！事故ゼロ」

追突事故の多くが
低速追従時の**安心感**と**油断**からくる
車間不足と**注意力不足**

"うっかり・ぼんやり"による交通事故を防止しましょう

バック時は　**降りて**確認　**乗って**も確認

交差点手前で止まる時は**車1台分のスペース**を空けて止まる

交差点　「右左確認／よ～し！」

交差点　停車車両に、"突っ込む"

追突された車2台が、弁当店に突っ込む、通行人の女性が車の下敷きになり重傷

2015年7月17日(金)19時46分

１７日午前１１時半過ぎ、東京都の交差点で停車していた乗用車とワゴン車に後ろからワゴン車が**突っ込み**ました。そのはずみでワゴン車２台が交差点の脇にあった弁当店に突っ込み、通行人の７０代の女性が**車の下敷き**になりました。女性は病院に運ばれましたが、骨盤を骨折するなどの重傷です。警視庁は追突したワゴン車を運転していた８０代の男性を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕しました。取り調べに対し、男は**「アクセルとブレーキを踏み間違えた」**と容疑を認めているということです。

午後6時　横断歩道の女性が、トラックにはねられ死亡

2015年7月18日(土)7時0分

１６日**午後6時**５分ごろ、神奈川県の県道で、無職の女性(69)がトラックにはねられ、間もなく死亡した。海老名署は自動車運転処罰法違反（過失致死）の疑いで、トラック運転手の男性(48)を逮捕した。女性が**横断歩道**を渡っていたところ、トラックにはねられたとみられる。

美唄　点検中、ダンプの荷台に"挟まれ"て死亡

2015/07/15

15日午後2時50分ころ、美唄市の工事現場で、会社員の男性(33)がダンプの荷台と車体の間に**頭部などをはさまれ、間もなく死亡**した。美唄署によると、男性は積荷のアスファルトを降ろそうと、運転席で荷台の後部扉を開ける操作をしたが、扉が開かなかったため、**車外に出て、荷台と車体の間を確認していた**という。同署はその際に、**何らかの原因**で**突然荷台が下がった**とみて調べている。